

# じっくり心をこめて

# スロー フード

69



## いも煮

今月は、牛肉と里いも、きのご類などを具とした山形県の郷土料理「いも煮」の紹介です。秋の収穫祭や地域の交流の場として芋煮会が開かれ、その際に振る舞われています。

## 《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

### 材料 (5人分)

- ・牛バラ肉 125g
- ・里いも 250g
- ・こんにゃく 100g
- ・ねぎ 75g
- ・しめじ 100g
- ・だし汁 800g
- ・酒 小さじ1
- ・しょうゆ 大さじ1と2/3
- ・砂糖 小さじ1と2/3
- ・塩 小さじ1/3

### 作り方

里いもは皮をむいて、大きめに切る。ねぎはななめ切りにする。しめじは小房に分ける。  
 こんにゃくは手でちぎって、下ゆでする。  
 牛肉は4cm幅に切る。  
 だし汁を鍋に入れ、里いも、こんにゃく、酒、しょうゆを少々入れて、里いもがやわらかくなるまで煮る。  
 里いもがやわらかくなったら牛肉としめじを入れ、アクを取って、砂糖としょうゆと塩を入れて、ひと煮する。  
 ねぎを加えてひと煮立ちしたら完成。

## せきかわ文芸

### 川柳

白鳥よ北へ北へとまっしぐら

高橋 イツ  
(愛広苑)

### 短歌

逝く秋に秋明菊も冷えびえと身の痛む  
とき心も痛む

須貝 恵美  
(高田)

減反の残りの大豆を食う群に母に  
しっかり掴る子猿

佐藤 庄七  
(愛広苑)

侘しかり刈田広がる畦道を今日は  
晴れやか園児等の列

小池 啓子  
(下関)

里芋は子芋抱き合い太りたる掘りつつ  
挽ぎし小気味よき音

山口 藤枝  
(辰田新)

あたらしき命もらいし子の家族過せし  
部屋の空きて寒しき

渡辺千恵子  
(上関)

# 近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

## 横山 幸



横山幸さんは関川村収入役や助役の要職を合わせて二十四年二か月にわたって務め、初代関川村長新野三助はじめ五代の村長を補佐して村の発展に貢献。大正十年九月十六日、黒川村

夏井の坂上幸太郎の二男として出生。鼓岡尋常高等小学校卒業。昭和十二年陸軍被服廠に就職。後半は物品出納室勤務。昭和十七年四月新発田十六連隊に入隊。ガダルカナル補充要員としてラバールに駐屯。フィリピン、マレー、ビルマ、ベトナムに主計下士官として転戦。ホーチミン市で終戦を迎えた。昭和二十一年五月復員し、黒川村森林組合や鼓岡郵便局に勤務。

昭和二十三年四月関川村辰田新の横山家に婿入り横山姓となる。昭和二十三年六月十二日関谷村書記に任ぜられる。昭和三十三年四月一日三十五歳の若さで関川村収入役に選任。収入役として九年九か月優れた事務能力を発揮して職務に精励。特筆すべきことは県内の自治体に先がけて伝票会計と指定金融機関制度を採用して会計の迅速化を図ったことである。昭和四十二年一月一日関川村助役に選任。十四年三か月にわたって村長を補佐し村の発展に尽くした。昭和四十二年八月二十八日の大水害で村は壊滅的な打撃を受けたが、村長を補佐し指導力を発揮して被害者の救援活動と農地をはじめ各種事業の災害復旧に全力を尽くした。また水害のため村財政は赤字を生じ関川村は再建団体となったが、寝食を忘れて努力し一か年短縮して四十四

年再建団体から脱却することができた。災害復興記念事業としての公民館の建設をはじめ、役場新庁舎の建設や上水道事業の着手、工業団地造成・工場誘致のほか国道二九〇号線の昇格、丸山大橋架橋の県直轄事業採択陳情など、よく村長を助けて実績を挙げた。

昭和五十六年三月三十一日助役退任後、財団法人渡邊家保存会の事務局長に就任。昭和六十年まで国重要文化財の保存に力を尽くした。特に五十六年から三か年間、味噌蔵の解体修理や母屋の屋根の修理など約一億四千万円を投じた工事を無事完成させた。また大事業であった村史編さんにも参画し、編さん委員長を務めた。平成四年二月「関川村史」が刊行された。

役場を退職後は弦巻松蔭に師事して書道に励んだ。禾秋を号し日本最大の書展といわれる「毎日展」や「県展」に入選を果した。また辰田新をはじめ村内三か所で書道塾を開講し、同好者に熱心に指導した。観世流謡曲を趣味とし、羽鳥宏師範のもとで謡曲をたしなんでいる。

横山家の系図

先祖

太郎七：太作 林作

幸

チイ 一威

## せきかわ文芸

### 関川俳句の会作品

ふんわりと綿飴のごと秋の雲

渡辺しづい

小春日や骨董市の皿の藍

南 セツ

積雪は日本一の秋つらら

渋谷 くに

収穫に胸はる農夫秋多忙

佐藤 ノブ

あちこちに槌の響きや冬支度

青木 慶一

秋日和遠来の友妻連れて

五十嵐貞子

### せきかわ柳会作品「多忙」「旗」

主婦業もやる気になると忙しい

渡辺しづい

閑人と頼まれ事で日々多忙

南 セツ

晩学の趣味味ありて惚けられず

佐藤 ノブ

冬支度多忙に追われ日も暮れる

本間 イミ

生きている証毎日多忙です

平田 千恵

若き日の多忙は何も怖くない

高橋 イツ  
(愛広苑)